

② 第21回民放東京支社に働く女性の集い ②

さらば不健康~何でもあり? そんなことはないよね!



女性協議会



息のあったハーモニというとり

7月10日、日本プレスセンターで「さらば不健康~何でもあり? そんなことはないよね!」のタイトルで、第二回民放東京支社に働く女性の集いが開かれ五十一人が参加した。

「なにがあっても共に生きる道を選ぶ」テロ・戦争・暴力が蔓延する時代に「どう生きるか」の記念講演は、環境、平和に関する国際的な活動家のきくちゆみさん。9・11のテロが起きてきくちさんの生活は一変、「テロに対するフシユの報復は、テロ以外の何物でもない」と全米主要紙に反戦・平和の意見広告を出すなど国際的な活動が始まったという。会場ではアメリカ軍の爆撃機から撮った極秘映像やアルジャジーラのフア

ル・ジャ市市民大虐殺の写真が写し出された。湾岸戦争後の兵士達に如実に顯れている化学兵器の怖さも報告され「戦争で最初に犠牲になるのは真実だ。目をそむけるようになるだろうが、日本は戦争に賛成し自衛隊を送っているのだから結果も見なくては行けない。ましてメディアは知らせる側」「反戦、平和にはアメリカの勇気ある人々も立ち上がっている。一人では何もできなくとも、世界の天勢の人と連帯しよう、しがらの少ない女性から立ち上がろう」と話された。エネルギーシユな活動に裏打ちされた、澄んだ瞳に力を込めたきくちさんの訴えに共感し、途中で挿入されたパートナーの森田玄さんの反戦歌、お二人のフオークソングの息のあったハーモニ、平和への思いが心に染み渡る時間半となった。

に染み渡る時間半となった。続いては、「ちよっと聞いてよ! おっちゃん話」。

日本テレビの成果主義導入後の職場実態報告や元RNCの中山紀子さんの心豊かな人生の送り方のコツを伺いながら会場からも思いの丈を。一時間では到底時間が足らず、交流会に場を移して、思っ分語り合った。

—